

三田空襲ワークシート 小学校高学年

先生用 解答例と指導のポイント（小学校高学年）

ねらい：三田にも空襲があったことを知り、子どもたちが体験したことに思いをよせ、自分にできる平和への行動を考える。

1. ① ○ ② ×（7月19日、夏） ③ ○ ④ ×（証言では、空襲を受けたとき、その場に大人はいなかったと語られている）
2. 空から見つかりにくいように、また頭を守るため。（漫画の中で「冬服も敵から見つかりづらいから着て帰れ」と先生が言っている）
3. 例：当時は「日本は勝っている」と教えられていた／ラジオでは別の飛行機（B29）の話しか出なかった／警報が解除されていた／初めて会った人だった。
4. 例：「命は大切にせなあかん」「まだ出来ることはある」「誰も憎まんでいい、そういう未来を作りたい」。
5. ことば調べ：空襲（飛行機から攻撃すること）、疎開（空襲をさけて地方へ移ること）、防空頭巾（頭を守るための綿入りのずきん）、集団下校（みんなで一緒に帰ること）。
6. 5：正解はありません。「憎しみが次の憎しみを生む」ことと、「憎まない未来を作ろう」という気持ちの両方に触れ、子どもたちの思いを受け止めましょう。
7. 6：身近な行動（話を聞く、調べる、家族に伝える、まんがを友だちに紹介する）が書ければ十分です。
8. 7：動画を見る時間がなければ、宿題にしても構いません。

配慮：空襲で亡くなった子どもたちの名前は載せていません。撃たれる場面は直接描かれていませんが、気持ちが重くなった子には、先生や家族と話す時間をとってください。